



技術士だより

—(社)日本技術士会九州支部・九州地方技術士センター秋季号<第33号>(平成9年9月15日発行)

◇巻頭言

支部長就任のご挨拶

川崎 達一 (九州支部長)

去る5月31日の選挙で皆様方の御推薦を頂き支部長をおおせつかり大変な名誉に感じるとともに責任の重大さに身の引締る思いがしています。皆様方のお力添えを頂いて全力をあげて、九州支部の発展、技術士活動の活性化に取り組んでまいりますので、何卒、宜しく御順達御指導の程をお願いします。当面の基本的な課題について意見を述べます。

第1番目は組織についてです。(社)日本技術士会九州支部(以下支部と称す)と九州地方技術士センター(以下センターと称す)との関係ですが、諸先輩の英知によって九州独自の方式、支部会員は自動的にセンター会員となる。で今まで順調に発展してきましたが、この方式をこれからも継続します。支部とセンターとは目的は全く同じであり、今後も一体となって活動し運営する必要があります。例外として技術士試験管理は支部のみ、受験対策講座はセンターのみの業務と明確に区分します。

技術士活動はまず「集い、連携、連帯」からはじまります。企業単位、地域単位の技術士の集りからスタートして九州ブロックのセンターに集約されて活動し、最後に日本技術士会の全国的な活動に貢献して頂きたいのです。本部の基本的な考えは全員に最初から支部会員になって欲しいのですが、学会や技術協会の年会費が1万円内外であることから考えて、今の年会費2万4千円では高くて入会の障壁になっています。それでまず、九州での技術士活動に支部会員と一緒に参加して頂くために、センターへの入会をお願いしているわけです。

学会等に入会する主な動機は、最近の斯界の情報を得て技術の研鑽、資質の向上と会員間の交流であろうと思います。技術士会も同じですが、この他技術士活動には社会的地位の向上があります。名刺に「技術士」と記載するのは技術士の社会的地位を認めてのことであり、その保持向上にはプレッシャーグループである技術士会の活動が必要です。このことが技術士会への入会の大きな意義であることを認識して頂きたいのです。技術士会への入会は同好会や趣味の会とは違い、会に魅力があるか、ないかの問題よりも、まず入会してから魅力ある会となるよう活動すべきだと考えています。そして活動を通じて九州の発展にも寄与したいものです。

第2番目は財政基盤の強化の問題です。昨年度までは受験対策講座の収入から管理費へ300万円余りを充当していました。今年度は同じ講座を民間でも実施された結果受講生が減り収入が半減し予算の編成に大変苦慮しました。担当委員会の努力によって例年の半額程度の貢献を頂ける見通しがたちました。このような事から本年度の予算編成にあたり「政策委員会」からの提言を受けて、「会員増強200人、賛助会員、75口増を全員が一致して強力に進めて財政危機を乗り切る」とことが総会で決定されました。各地区各部会で目標を定めて、これが実現のため役員をはじめ会員が手分けして全力をあげて頑張っています。何卒、皆様方の力強い御支援をお願いします。

一方、支出面においても事務処理の合理化等で効率的な事務運営を行うことで財政基盤を強化して、ビジョンとして小人数の会議ができる、技術士活動の活性化に役立つような明るい事務室を早い時期に持ちたいと考えています。

(次ページにつづく)

1人でも多くの入会をお勧め下さい

(巻頭言のつづき)

第3番目は本年の10月に九州支部の担当で福岡市において開催される「第24回技術士全国大会'97」の件です。「全員で参加して成功させよう」ということで1年以前から「実行委員会」を組織して全力をあげて取組んできました。皆様方にぜひ参加して頂いて大会を盛り上げて九州の熱意を示して頂きたいのです。出席されれば必ずや大きな成果があり、御満足いただけるものと関係者一同自負しています。

最後になりますが「技術士だより」と「会員名簿」の件です。支部会員、センター会員の皆様一人ひとりに確実に直接コンタクトできる技術士活動としては重要な方策ですので総力をあげて取組んでいます。編集のための小委員会を設けて、各地区、各部会からも情報をいただいて内容を充実したものとして皆様方のお役にたつようにいたしたいと考えています。

各地区的活動や各種委員会、部会等の活動については、予算の範囲内で収支見合いを原則として、創意工夫を働かせて相互に連携をはかって、それぞれの会で自主性をもって活動して、技術士活動の活性化をはかり魅力ある技術士会となるように努力をお願いします。

以上、支部長就任にあたり基本的な考えを述べましたが、まだまだ不十分なところも多かろうと思いますし、皆様方の御意見や御提案等どしどしお聞かせ頂くとともに技術士活動に積極的に参加して頂くことをお願いして私の御挨拶といたします。

私の提言

私の提案

泉舍官 昭雄(北九州・電気)

今日の我が国経済・産業社会、市民社会の繁栄は、わが国始まって以来のものといわれ、国民所得も世界の中で高度な水準に位置しています。この様な豊かな社会の形成に、技術者は一定の貢献を果たしたという自負を持っています。そしてこれら社会が今後とも安定的に、持続的に発展することに、従前にも増した役割を担うものと私は考えます。明日の技術は、単純に現状技術を延長するようなものではないでしょう。時代の要請に従い新たな専門分野が開拓され、質的に深まり、統合化が頻繁に行われると思われます。この様な状況の中で、技術者が闊達にその力を發揮し、社会に貢献しつつ次の技術を創る力を蓄え、また一人一人の人生を充実し、良き市民であることが、技術者のあるべき姿であると私は考える次第です。

技術士会は、これに向けても活動してきたと思います。ここでわが国の体制の中での技術士会の優位性と劣位性を確認し、当会の今後の活動方向を提案致す次第です。

わが国の行政、科学・技術制度は、概ね縦割り制度です。これに対して当会は、医師、建築士を除く殆どの技術者を擁しております。縦割り文化主体のわが国の中では特異な存在です。当会活動は、各省庁個別行政分野の中に閉じる活動ではありません。医師、計理士、弁護士等の職業法的支えが技術士に対し成立し難い基本要因でしょう。省庁を越えた国家利益の観点での“論”が不足しており、この点の統括力が弱いのではないかと。学会、協会も同様でしょう。

そこで新たな観点での展望は、“総合力の展開”です。医師、建築士以外のすべての技術者をカバーしている事こそ当技術士会の最大の特徴です。まさに時代は総合力を求めています。個別最善は、全体最善とは限りません。縦割り制度はその役割を変質する必要に迫られています。

当技術士会は、その擁する異種技術を柔軟に編成し、効率的に課題対応できる可能性を持つ、

(次のページに続く)

(私の提言の続き)

わが国唯一の技術集団であり、既存縦割り諸制度とフェイズを合せながら、展開できるものと信
する次第です。
以上

日本技術士会近況

理事会報告と新米理事の提言（技術士資格の更新を）

矢野 友厚（理事）

◎第1回（平成9年6月23日）は、会長選挙について論議が尽くされ選挙の結果、建設技術研究所会長の梅田昌郎氏（69才）が選出された。なお、同氏は理事選挙において最高点の700票を獲得している。また、久しぶりに政界出身者の会長から脱却して、技術士本来の姿と変貌したものである。

◎第2回（同年7月8日）は、会長、副会長及び常設委員長の指名追認や、顧問、評議員、常設委員会委員の委嘱が行われた。一方報告事項の一つとして、平成9年度会長表彰受賞者が披露され、九州地区からは岡部九州生氏（福岡・農業）城石高彌（長崎・建設）が表彰の栄に浴された。

その他各理事からの提言がなされ、その冒頭私が発言、「日本の技術士は一度資格をとると終生資格となっているが、現在各國資格のグローバル化（相互承認化）が提言されている中で技術能力が向上しているか否かがエーベックでも最大の課題とされていると聞く。日本技術士会でもよく検討し資格の更新と技術士会員の生死確認を合せて実施したらどうか、また更新に当り、未加入会員と加入会員との更新費に差をつけ、未加入会員が実質的に加入費用の納入をされるよう計画したらどうか、そうすれば会費の値下げも可能となる」旨の発言を行った。

これに対し理事長からは、「ニュージーランドでは3年間に150時間の研修を受け更新とか欧洲の諸国はセミナーを強制している状況や出身学校まで指定されている国の例」を答弁され、日本の技術士が外国で活躍しやすくする最大の課題であり、今後、資格取得後継続的に技術を習得するような仕組について検討して行きたいと発言された。

最後に、理事の重責を果たすべく、技術士の地位向上と、技術士会の発展に努力する所存でありますので申し添えます。

支部長会議の報告

川崎 達也（九州支部長）

本年度第1回目の支部長会議が、中部支部の当番で次の通り行われました。

◇日時 平成9年7月10日（木） ◇場所 （社）日本技術士会 会議室

◇出席者

本部 ※梅田会長、※吉武副会長、保坂専務理事、樋口センター長

支部 北海道・※岡本、東北・北松、北陸・副会長、理事・中山、中部・理事・中川、近畿・※加藤、中四国・※森、九州・※川崎 ※印は新任者

今回はじめて会長が出席されたが、今後もできるだけ出席するとの発言があった。

各支部より提出された議題について、それぞれ活発な論議があり、会長からも前向きの発言が多くあり積極性が感じられた。一方専務理事の方は慎重な発言が目立った。

九州からの提出議題は次の通り

（次ページに続く）

(本部近況の続き)

1. 九州支部における支部長選挙 (報告)

2. 本部への要望事項

(イ) 未加入者に対する入会勧誘パンフレットの作成

(ロ) 支部に対する財政支援の拡大

入会金、賛助会費、事業収入等より字数の関係もあり、大体の結論を記す。

○今後本部において検討されるもの

(1) 支部会員の移動についてのリアルタイムでの情報提供と交付金支給の迅速化

(2) 入会金等からの支部への交付金の支給

(3) 未加入者に対する勧誘パンフレットの作成。当面新規合格者を対象としたものがあるので、これが使えないか。

○常設委員会等への支部からの出席者を増すのは、旅費の問題で難しい。

○支部長が理事となっていない支部が増え5支部あるが、過重にならないための役割分担の結果である。相互に意志の疎通を充分に行う必要がある。

○支部長間の連携を密にして情報交換や意志の疎通を積極的に行う。

(以上)

技術士会九州支部・九州地方技術士センター

□ 行事・会合などの報告

平成9年度事業

九州、中国・四国支部合同研修会 実施報告

甲斐 忠義 (事業委員長)

大雨予報の中、交通機関の運行中止を気にしながら集合の新尾道駅に急いだが、幸い梅雨前線も小康状態で研修期間の7月11日・12日共まずまずの天候であった。今回の研修参加者は46名(九州15名、中四国31名)で常連のベテラン先生の外若いセンター会員も3名見られた。

今回の研修は“しまなみ海道”とネーミングされている本州四国連絡橋公団建設中の西瀬戸自動車道(約60km)のうち世界一の斜張橋“多々羅大橋”的視察であった。この橋は広島県豊田郡瀬戸田町(生口島)と愛媛県越智郡大三島町を結ぶもので中央支間長は890mで完成すればフランスのノルマンディ橋の856mを34m上回る。研修会では前日公団第3建設局(西瀬戸ルート担当)課長による事業説明に続き翌日は、多々羅大橋展望台で架橋現場を目の前に現場所長による工事説明を聞いた。現在7月末を目処に鋼主桁の最終的な接続工事中で、当日は生口島側からケーブルを緊張中であった。この工程が架橋中最も危険な作業なため台風期前に完成するよう施工計画が立てられている。

さて今回の研修は、水軍の歴史とロマンを満喫する観光コースに沿っていた。現在NHK大河ドラマ“毛利元就”に登場する村上水軍は、本拠地が因島であり再現されている水軍城には多くの縁りのある品が展示されている。また芸予海峡の中央に位置する大三島には、源義經奉納の鎧など全国の国宝、重要文化財の指定を受けた武具類の8割が保存展示されている大山祇神社(おおやまつむぎ)がある。この外因島フロワーセンターや瀬戸田町の平山郁夫美術館など見学したが平成11年の西瀬戸自動車道の開通後再度訪れたいところである。

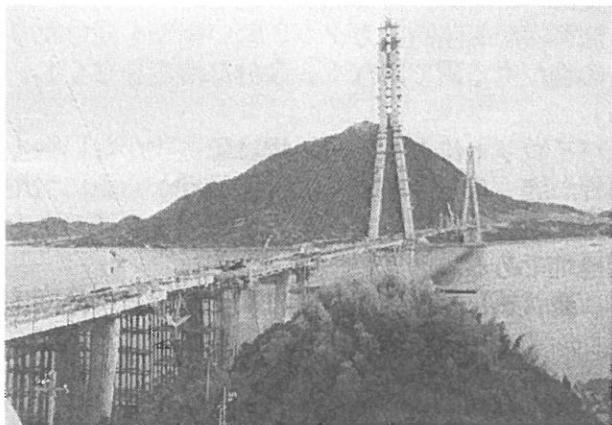
研修に参加されました諸先生方お疲れ様でございました。来年は、九州支部が担当する事となっていますので宜しくお願いします。

(次ページに続く)

(支部・センター行事報告の続き)

西瀬戸自動車道の橋梁

橋梁名	形式	幅(中央支間)
新尾道大橋	斜張橋	546m
因島大橋	吊橋	1,270m(770m)
生口橋	斜張橋	790m(490m)
多々羅大橋	斜張橋	1,480m(890m)
大三島橋	A-橋	328m日本一
伯方、大島大橋	伯方橋:斜橋 大島橋:吊橋	伯方橋:325m 大島橋:840m
来島大橋	第1~第3 三連吊橋	4,105m(1,030m) 第3橋



熊本県技術士セミナーについて

吉田 紘彬 (センター理事・熊本・応用理学)

平成9年6月24日、熊本県庁西側に建設されて間もないコンベンションセンター“熊本テルサ”で熊本県技術士会と(社)日本技術士会プロジェクトチーム熊本技術センターとの合同セミナーを開催しました。

日時 平成9年6月24日 17:30~ 場所 熊本テルサ 熊本市水前寺公園28-51

出席者 技術士及び技術士補:40名 来賓及び支援会員:13名

講師 岡村五郎先生

海軍・海上自衛隊・全日空機長後教官として飛行時間2万6千時間のベテランパイロット

現在、アクロバット飛行チーム「スパーク」会長

演題 “パイロットから見た空の現状と九州国際空港”

約1か月経過して、報告書をまとめろと言われ、まだ惚ける年齢ではない(人の名前を忘れやすい?)が、当日司会・進行・会場係りをおおせつかり、半分は他の方へ気を回していたため記憶に留まらず、それでも頭に残っていることの要点を箇条書きさせて頂きます。

航空機は離陸～低空・高空・低空飛行～着陸の繰返しで、気圧により機体の膨張収縮が発生し金属疲労を起すため、日本の航空会社では10数年で払い物になるが、発展途上国では、その様な払い下げられた航空機をさらに10数年使用する。中には修理部品がなく、故障したまま飛んでいる物もあり危険きわまりない。

※(感) 航空機の値段が料金に反映し、安くて危険な飛行機が存在する。中古車も同様で、昔は車の性状を把握し自分で修理調整できたが、近年コンピュータ化が進んで、どこをどう扱ってよいか分からなくなってしまった。

昨年福岡空港でガルーダ航空の飛行機が墜落炎上したが、あれはパイロットのミスと思われる。離陸する前であれば中止することもできるが、離陸したら故障したエンジンは使用しなくても十分飛べるはずで、態勢を整えて着陸するのが常識である。パイロットへの教育訓練が行き届いていなかったと考えられる。

※(感) パニックで我を忘れた我流運転は怖い。

昔のスチュワーデスは、軽作業を考えたスマートな美人でよかったが、近年はパニックで行動する乗客を制し、脱出シートに尻込みする乗客を投げ込めるような重作業のできる女子プロレスラータイプが求められる傾向にある。

※(感) このスチュワーデスとなら死んでもよいと思える美人が減っていくことは、寂しい。
(次ページに続く)

(支部・センター行事報告の続き)

旅客機が着陸時にガタンと軽い衝撃を受けたり、滑走路に斜めに着陸するのは決してパイロットの腕が劣る訳ではなく、余分な滑走をなくし、横風に釣り合わせて着陸させる当然の手法である。

パイロットにとって飛行場は障害物がない海上が望ましい。現在の熊本空港は、雨、霧により視界が悪くなる時が多く、西側低地から急に台地に至るため、好ましくない立地条件である。大牟田・荒尾沖は内海で、視界や風向、交通アクセス（今後の計画を含めた）にも恵まれた最良の候補地である。

※（感）九州国際空港は次期全縦での西南広域国際交流圏の要になる国際空港として考えられる。新幹線が通れば博多から20分の時間距離に位置する大牟田・荒尾地先案に博多の方々が賛成できないのか、また大牟田の石炭産業に代わる航空産業を興すことが、福岡県にとっても非常に重要と考えられるのに福岡経済圏を大分・佐賀・熊本県まで、或いは九州全域まで広げて考えられることを期待している。

第27回日韓技術士会議の御案内

第27回日韓技術士会が下記の日程で開催されます。多数のご参加をお待ちしております。
詳細については九州支部事務局にお問い合わせください。

日 時 ◇10月27日（月）開会式及び合同シンポジウム、分科会、懇親会（同伴者も出席）

◇10月28日（火）見学会：現代自動車牙山工場—扶餘—公州—ソウル

◇10月29日（水）板門店見学—夕方コリアハウス（宫廷料理、民族舞踊）

◇10月30日（木）午前：市内観光

場 所 韓国 道高パラダイスホテル

エネルギーと環境のパラダイム 「YCE福岡」5周年記念講演からの報告

斎藤 清美（福岡・衛生工学）

近年、環境問題や、エネルギーの動向、防災対策やより質の高いインフラ整備等への動きが活発となって来ています。本年は、YCE福岡（Young Consulting Engineers Fukuoka）が設立されて5周年となり、これを記念して、このような社会動向の第一線で御活躍されておられます（財）日本環境衛生センターの大澤先生及び九州電力（株）の森先生による、5周年記念講演会が6月28日福岡東映ホテルで開催されました。当日は、台風の影響があったにもかかわらず、40余名の参加者を迎えて盛況に開催する事が出来ました。最初に真鍋運営委員長の挨拶の後、諸藤委員の司会により、次のプログラムに沿って講演が行われ、（社）日本技術士会九州支部長を中心とした内外の会員の出席者を交えた懇親パーティも開かれました。

講演会は川田委員の司会により進行され、斎藤委員の乾杯の音頭の後に恒例の1分間スピーチを全員に語ってもらい、和気藹々のムードで5周年を記念しました。最後に久保川委員の五本絞めでYCE福岡のパフォーマンスが終了しました。

講演 車云木幾を迎えたゴミ行政

……内外の廃棄物の動向……

（財）日本環境衛生センター西日本支局 環境工学部 業務企画課長 大澤正明先生

講演 エネルギーと環境について

……電力業界の動向……

九州電力（株）広報部、原子力広報企画担当課長 森 秀文先生

総務委員会

◇平成9～10年度九州支部及び技術士センター組織図

「技術士だより」第23号で平成9～10年度の(社)日本技術士会九州支部および九州地方技術士センターの人事を速報しましたが、改めて支部及びセンターの組織図を記載します。

特徴としては両者の組織及び人事を明確に分離したことにあります。

1. 《(社)日本技術士会九州支部》

支部長 川崎 迪一 (福岡・建設)
副支部長 帆足 建八 (福岡・建設)
" 新城 精一 (宮崎・建設)

総会

顧問

役員会

支部長 副支部長
幹事*

常任幹事会

支部長、副支部長
地区代表幹事
常設委員長、部会長

会計監事

山谷 三郎 (機械)
完戸 鶴 (農業)

*幹事

斎藤 健男 (福岡・建設)
武内 重信 (福岡・建設)
是石 俊文 (福岡・建設)
棚町 修一 (福岡・建設)
清水 博和 (福岡・建設)
三原 節夫 (福岡・水道)
松田 研志 (福岡・水道)
田中 穢治 (福岡・経営工学)
角田 正治 (北九州・機械)
本田 整 (北九州・金属)
山口 和登 (長崎・応用理学)
林 博昭 (熊本・農業)
甲斐 忠義 (大分・建設)
朝日 輝 (宮崎・建設)
福島 正三 (鹿児島・建設)

地区
(代表幹事)
(幹事*)

福岡地区
北九州地区
佐賀県全域
長崎県全域
熊本県全域
大分県全域
宮崎県全域
鹿児島県全域

代表幹事
笠木 直行 (建設)
泉館 昭雄 (電気・電子)
藤永 正弘 (建設)
永濱 伸也 (応用理学)
青山 次則 (建設)
川野 宏平 (農業)
新城 精一 (建設)
黒岩 郁夫 (農業)

常設委員会
(委員長)
(委員)

総務委員会
試験管理委員会
事業委員会

委員長
田中 穢治 (経営工学)
斎藤 健男 (建設)
甲斐 忠義 (建設)

特別委員会
(委員長)
(委員)

政策委員会
(平成8/6より3年間)

部会長
山谷 三郎 (機械)

第一部会
(機械、電気・電子、船舶、航空・宇宙)
第二部会
(建設、応用理学)
第三部会
(化学、繊維、金属)
第四部会
(水道、衛生工学)
第五部会
(農業、林業、水産、生物工学)
第六部会
(経営工学、情報処理、環境)

事務局

事務局長 古賀 豊吉

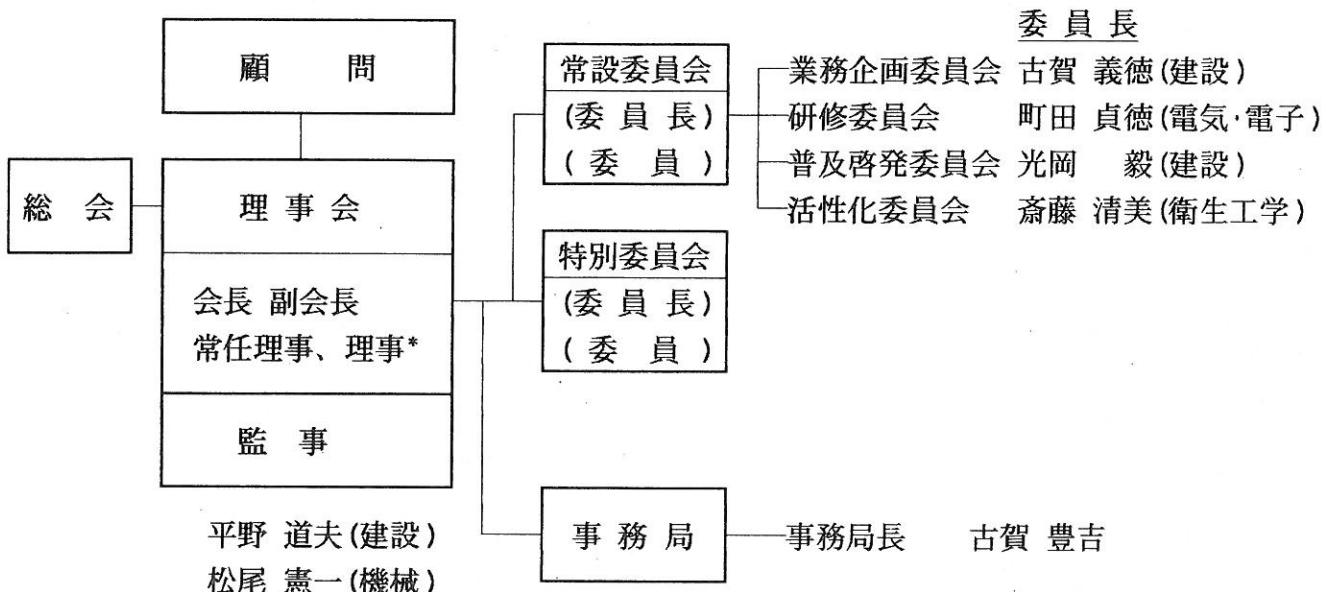
総務委員会

2. 《九州地方技術士センター》

会長 川野 宏平 (大分・農業)

副会長 重富 秀雄 (福岡・経営工学)

" 笠木 直行 (福岡・建設)



* 理事

町田 貞徳 (北九州・電気電子)
杣 辰雄 (福岡・建設)
光岡 肇 (福岡・建設)
津城 正 (福岡・建設)
江口淳一郎 (福岡・建設)
古賀 義徳 (福岡・建設)
真鍋 和義 (福岡・水道)
斎藤 清美 (福岡・衛生工学)
末松 正典 (北九州・機械)
安西 敏雄 (北九州・金属)
垣迫 裕俊 (北九州・建設)
沖部 俊昭 (北九州・経営工学)

内山 順治 (佐賀・林業)
原田 彰 (佐賀・建設)
芳賀三千億 (長崎・経営工学)
柏原公二郎 (長崎・応用理学)
加来 英器 (熊本・建設)
渕田 精三 (熊本・建設)
吉田 紘彬 (熊本・応用理学)
篠島 昇 (大分・建設)
室之園泰昭 (大分・建設)
井川 仁 (宮崎・建設)
西田 靖 (宮崎・建設)
稻田 博 (鹿児島・建設)
郡山 匡良 (鹿児島・農業)

第24回技術士全国大会開催迫る！

会員の皆様方には“技術士”7月号で全国大会(九州大会)の概要紹介ならびに参加のお願いをしておりますが、開催もいよいよ目前に迫って参りました。

◇平成9年10月15日

◇ホテルニューオータニ

まだ参加申込みがお済みでない方は今からでも間に合います。是非ご参加ください。“支部・センター会員全員参加の全国大会”を成功させる原動力となって頂き、全国大会の感動を分かちあいたいと思います。

ご来福をお待ちしています。

第24回技術士全国大会実行委員会

◇第24回技術士全国大会準備状況報告

全国大会実行委員会

☆実行委員会第一回会合 平成9年2月15日(土)

これまで技術士全国大会の開催を準備委員会で進めて来たが、正式に実行委員会を発足させ、その業務をこれに移す。小委員会の内、記念誌委員会の委員長を久保田信一会員より斎藤健男会員に変更する。

☆実行委員会第二回会合 平成9年5月17日(土)

記念誌に掲載する祝辞は下記の方に依頼する。

- ・科学技術庁長官(本部に依頼)
- ・九州通商産業局長
- ・九州農政局長
- ・九州地方建設局長
- ・建設省第4港湾建設局長
- ・福岡県知事
- ・福岡市長

記念式典、記念パーティの式次第は北海道大会を参考に検討する。

☆実行委員会第三回会合 平成9年7月19日(土)

従来、大会記念誌の巻末に掲載されている企業の広告は今回は行なはない。これに代えて、九州通産局、九州農政局、九州地方建設局等の情報データ並びに各県及び政令都市の情報データを紹介する。

大会実行委員会の体制を、5月31日の支部並びにセンターの新役員構成に基づき再編成してスタートする。

大会委員長	川崎 迪一
大会副委員長	川野 宏平
"　"	新城 精一
大会実行委員長	帆足 建八
大会実行副委員長	笠木 直之
"　"	清水 和博
総務委員会委員長	重富 秀雄
分科会委員会委員長	甲斐 忠義
記念誌委員会委員長	斎藤 健男
研修・見学委員会委員長	三原 節夫
財務委員会委員会委員長	光岡 肇

◇普及啓発委員会平成9年度事業計画

光岡 豪（普及啓発委員長・福岡・建設）

1. 委員会名称の変更

育成委員会を普及啓発委員会に名称を変更する。（センター細則第1条2項1の改定）

2. 平成9年度普及啓発委員会業務方針

(1)事業の目的

技術士を希望する者を対象に指導を行い、その名称を技術士受験総合研修講座とする。

(2)委員会の業務

委員は、会員の中から講師を選定し、事業を計画実施しテキストを作成し、共通講座及び個別指導を行う。

(3)講師

講師は委員長が委嘱する。

(4)講師の業務

講師は委員会の指示に従い、個別指導を行う。

(5)テキストの作成

必要なテキストは、委員会において作成する。

(6)テキストの版権

テキストの版権は、この委員会が保有する。

3. 平成9年度業務の計画と実施

(1)第1回委員会及び講師の選定と委嘱

平成9年3月22日第1回委員会を開催し、センター会長が委員を委嘱し、講習会の進行方針を決定した。

(2)講習会の実施

平成9年4月19日 第1回講習会 (受講者 53名)

6月19日 第2回講習会

6月19日 第3回講習会 (模擬試験)

7月19日 第4回講習会

11月22日 口頭試問講習会 (筆記試験結果発表後受講者勧誘)

(3)テキストについて

前育成委員長からテキストの使用について、著作権侵害のクレームがあるが、今回使用しているテキストはその殆どの部分を新たに作成したものである。さらに、残りの部分は、平成元年に作成したフロッピーディスクからのものである。しかし、急遽引き継ぎ作成したものであるのでカリキュラムの統一に欠けるところがある。このため、第4回講習会終了後に小委員会を設置して本年度のテキストを見直す予定である。

(4)その他

本委員会は技術士受験総合研修講座以外についても、一般技術者に対する講座を次年度以降設けられるよう、検討を始める予定である。

4. テキスト作成小委員会の設置

(1)構成委員

3.(3)に関し小委員会を設置する。構成員は10名程度とする。業務の分担事項は、

・試験全般に関わる情報担当 ・正しい日本語担当 ・論文の書き方担当

・口頭試験担当 等である。

(2)小委員会の活動

第24回全国大会終了後、10月20日頃から月1回ペースで行い、平成10年1月松を目標に進める。(4回程度)

◇活性化委員会平成9年度事業計画

斎藤 清美(活性化委員長・福岡・衛生工学)

1. 技術士技術抄録集の発行(継続事業)

- (1)原稿募集 平成9年9月～10年3月まで
- (2)編 集 10年4月～ 6月
- (3)印刷発行 10年7月～ 9月
- (4)技術士技術研究発表会開催 平成10年10月

2. 技術士の社会的地位の向上策について

- (1) “技術士”啓蒙活動の一環としての魅力ある技術士をテーマとしたパンフレットの作成
(九州支部・技術士ンセンター)
- (2)活性化、研鑽、交流を目的とした部会活動実績の調査・分析 (九州支部・技術士ンセンター)
- (3)各県の技術ビジョンの調査 (九州支部・技術士ンセンター)
- (4)業務受託システムの確立に関する検討会の実施
- (5)異業種(弁護士会、公認会計士、中小企業診断協会等)との交流会の開催

3. 技術士及び技術士会の活性化プログラム立案

- (1)各地方を支援するための方策について提言 (政策委員会へ)
- (2)若年技術士、老年技術士への生涯教育プログラム作成
- (3)内外の国際化に対応出来る技術士会組織の検討
- (4)その他、活性化に関すること

地区だより

◇北九州市長面談及び北九州建築フォーラム後援

泉館 昭雄(北九州代表幹事 電気・電子)

去る7月18日午前、北九州市庁舎に末吉北九州市長を川崎九州支部長、泉館北九州地区代表幹事が訪問した。技術士、技術士会及び北九州での技術士会の活動等を説明、併せて10/15の全国大会の開催されることを話し、大会記念誌とポスターセッションでは同市の政策(大会コンセプト関連)を全国の技術士への紹介したい旨と、同市長の大会へのご出席をお願いした。面談は20分を超えたが市長は自らメモを取り熱心に説明や要望事項などを聞かれた。終始リラックスした雰囲気で、政令都市首長との面談を終えた。

引き続き、同日午後から北九州商工貿易会館で行われる北九州建築「フォーラム1997」に出席した。主催は日本建築家協会九州支部であり、今回が64回目で技術士会九州支部からは後援団体として初めての参加である。「快適都市北九州」を主題に、建築設計者、生活者、行政主管者等の視点からの活発な討論があった。参加者は200名を超える盛会であった。当面支部レベルでの交流を積極的に進めることとし、10/15全国大会には西岡支部長を招待することになった。

以上

会員ニュース

☆日本技術士会（九州支部）入会

<連絡先と勤務先が同じ場合、連絡先のみ>

(地区)(区分) (氏名) (部門)

(上段：連絡先/下段：勤務先)

福岡 正嶺	小柳 賢祐	建設	819-11 前原市潤 155-5	☎(092)324-6012
		勤：	パシフィックコンサルタント(株)九州支社 ☎(092)885-5011/Fx(092)885-5003	
北九州	" 園田 敏勝	電気・電子	800-02 北九州市小倉南区中吉田 4-11-13	☎(093)884-3227
		勤：	九州工業大学 ☎(093)884-3227/Fx(093)884-0879	
福岡	" 塚原 俊一	応用理学	819 福岡市西区生松台 3-17-2	☎(092)811-8396
		勤：	日本工営(株)福岡支店 ☎(092)475-7557	
鹿児島	" 田/上 春雄	農業	891-01 鹿児島市星ヶ峯 2-19-14	☎(099)264-2663
		勤：	鹿児島県大隅耕地事務所 ☎(0994)82-1111/Fx(0994)82-5874	
長崎	" 大槻 繁	機械	852 長崎市葉山 1-40-9	☎(0958)57-0601
		勤：	日本ビゾー(株)長崎本社 ☎(0958)82-7155/Fx(0958)82-7249	
福岡	" 木村 昭二	建設	810 福岡市中央区篠丘 3-10-26	☎(092)715-7485
		勤：	株計画技術コンサルタント ☎(092)526-3637/Fx(092)526-3563	
福岡	" 濑戸 巍	建設	815 福岡市南区向野 2-23-3-304	☎(092)553-2115
		勤：	株高崎総合コンサルタント ☎(0942)44-8333/Fx(0942)44-8838	
福岡	" 宮原 淳	建設	813 福岡市東区香椎 1-1-1-605	☎(092)662-2520
		勤：	(社)九州地方計画協会 ☎(092)473-1057/Fx(092)475-0533	
福岡	" 高木 勇	建設	830 久留米市白山町 397-18	☎(0942)38-5244
		勤：	株S Pエンジニアリング ☎(092)452-5860/Fx(092)452-5861	
宮崎	" 岡山 義人	建設	880 宮崎市恒久 2-6-4	☎(0985)54-3739
		勤：	株西田技術開発コンサルタント ☎(0985)52-1227/Fx(0985)53-4848	
福岡	" 江口淳一郎	建設	811-21 福岡県粕屋郡須恵町上須恵 915-1	☎(092)932-9872
		勤：	九州建設コンサルタント(株)福岡支店 ☎(092)526-3251/Fx(092)526-3291	
福岡	" 黒木 康夫	建設	810 福岡市中央区赤坂 2-10-701	☎(092)725-1235
		勤：	株東亜設計事務所 ☎(092)522-5966/Fx(092)522-6041	
長崎	" 山口 和登	応用理学	859 大村市久原 2-1201-34	☎(0957)52-0233
		勤：	(株)ニチボー長崎支店 ☎(0957)43-4788/Fx(0957)43-4498	
熊本	" 小路 順一	農業	862 熊本市上南部町 1272-38	☎(096)389-8345
		勤：	アジアプランニング(株) ☎(096)372-6440/Fx(096)363-6809	
福岡	" 今林 顯二	建設	816 大野城市錦町 4-6-14	☎(092)574-4501
		勤：	パシフィックコンサルタント(株)九州社 ☎(092)885-5005/Fx(092)884-2818	
福岡	" 古橋 裕二	水道	811-41 宗像市栄町 701 アーサー宗像リバックス501号 ☎(0940)35-5209	
		勤：	パシフィックコンサルタント(株)九州社 ☎(092)885-5005/Fx(092)884-2818	
福岡	" 山路 和雄	応用理学	819-11 前原市大字前原 1628-11	☎(092)324-8858
		勤：	パシフィックコンサルタント(株)九州社 ☎(092)885-5005/Fx(092)884-2818	
福岡	" 山下 康治	建設	818 筑紫野市むさしヶ丘 3-2-13	☎(092)924-4211
		勤：	パシフィックコンサルタント(株)九州社 ☎(092)885-5005/Fx(092)884-2818	
福岡	" 宮地 宏吉	建設	819 福岡市西区野方 2-44-14	☎(092)811-6075
		勤：	パシフィックコンサルタント(株)九州社 ☎(092)885-5005/Fx(092)884-2818	

福岡	正穂	野里	栄照	建設	818	筑紫野市美しが丘南	3-11-6	092)926-8953
				勤:	(株)西部技術コンサルタント		092)291-8251/Fx(092)281-4513	
福岡	"	上村	幸二	建設	818	筑紫野市大字原	555-15	092)922-0835
				勤:	(株)西部技術コンサルタント		092)291-8251/Fx(092)281-4513	
福岡	"	中島	史樹	応用理学	811-12	福岡県筑紫郡那珂川町王塚台	3-271	092)952-9478
				勤:	(株)建設技術研究所	福岡支社	092)714-2211/Fx(092)711-8316	
福岡	"	上妻	睦男	応用理学	810	福岡市南区柏原	4-4-15	092)466-0424
				勤:	(株)建設技術研究所	福岡支社	092)714-2211/Fx(092)711-8316	
福岡	"	太田	達雄	建設	813	福岡市東区和白丘	4-11-46	092)606-9333
				勤:	(株)建設技術研究所	福岡支社	092)714-2211/Fx(092)711-8316	
福岡	"	入江	達雄	建設	818	筑紫野市天拝坂	4-11-8	092)924-5174
				勤:	(株)建設技術研究所	福岡支社	092)714-2211/Fx(092)711-8316	
福岡	"	桜木	清徳	建設	818	筑紫野市筑紫	667-126	092)926-1008
				勤:	(株)建設技術研究所	福岡支社	092)714-2211/Fx(092)711-8316	
福岡	"	原田	民司郎	建設	818	筑紫野市紫	463-28	092)921-1324
				勤:	(株)建設技術研究所	福岡支社	092)714-2211/Fx(092)711-8316	
福岡	"	平山	登章	建設	811-01	福岡市早良区野芥	6-34-16	092)801-8556
				勤:	(株)建設技術研究所	福岡支社	092)714-2211/Fx(092)711-8316	
福岡	"	廣田	武聖	建設	818-01	太宰府市通古賀	3-21-17-401	092)923-8477
				勤:	(株)建設技術研究所	福岡支社	092)714-2211/Fx(092)711-8316	
熊本	"	藤尾	保幸	建設	812	福岡市東区箱崎	2-2-23	092)651-3086
				勤:	(株)建設技術研究所	福岡支社	092)714-2211/Fx(092)711-8316	
福岡	"	吉田	直紹	建設	818	筑紫野市天拝坂	4-12-5	092)922-1287
				勤:	(株)建設技術研究所	福岡支社	092)714-2211/Fx(092)711-8316	
宮崎	"	貞原	伸義	建設	880	宮崎市丸山	1-160 オーケスヒル502	0985)25-0774
				勤:	(株)宮崎産業開発		0985)27-7103/Fx(0985)20-3887	
福岡	"	内田	学	衛生工学	815	福岡市南区老司	3-5-28-707	092)565-2388
				勤:	(株)九電工		092)523-6132/Fx(092)524-3267	
福岡	"	戸次	眞一	建設	811-41	宗像市泉ヶ丘	2-8-7	0940)33-5633
				勤:	(株)九州地質コンサルタント		092)586-0260/Fx(092)586-0075	
宮崎	"	内山	弘	建設	889-13	宮崎県兒湯郡川南町字川南	19442-4	0983)27-0978
				勤:	宮崎県土木部都市計画課		0985)26-7192	

☆(社)日本技術士会(九州支部)退会

福岡正鎌 加藤道人建設 東京へ転出

福岡〃柴田陽一建設 平成9年7月1日逝去

お詫びと訂正――――――――――

「技術士だより」平成9年6月15日におきまして、森下明憲会員を誤って退会と致しましたが、あくまでも編集の際のミスで、同氏ならびに会員の皆様に大変ご迷惑をお掛けしましたことを慎んでお詫びして訂正致します。

なお、会員ニュースにつきましてお気付の点や、ご意見がありましたら事務局まで連絡をお願いします。

☆九州地方技術センター入会

(地区)(姓) (氏名) (部門)

<連絡先と勤務先が同じ場合、連絡先のみ>

(上段:連絡先/下段:勤務先)

福岡 正頸 森 弘光 建 設 819-03	福岡市西区千里 442-11	☎(092)807-8931
	勤:建設省八代工事事務所	☎(0965)32-4135
福岡 " 原岡 周一 農 業 815	福岡市南区大楠 1-6 サンハイツ大楠 12-204	☎(092)524-3896
	勤:(株)大建	☎(092)851-3900/Fx(092)851-3947
福岡 " 寺地 守 建 設 815	福岡市南区大池 1-1-43	☎(092)542-6716
	勤:福岡県警察本部交通部交通企画課	☎(092)641-4141(内線3512)
福岡 " 豊福 茂隆 建 設 810	福岡市中央区高砂 2-16-31	☎(092)521-8500
	勤:(株)大林組九州支店	☎(092)271-3814/Fx(092)291-0676
福岡 " 今村 瑞穂 建 設 816	春日市ちくし台 5-17	☎(092)585-3479
	勤:(社)建築弘済会	☎(092)481-3781/Fx(092)481-3785
福岡 " 多久 正太 建 設 814	福岡市早良区城西 2-3-11ロイヤルアーヴィング	☎(092)841-4662
	勤:前田建設工業(株)九州支店	☎(092)451-1549/Fx(092)413-0945
福岡 " 山田 龍雄 建 設 813	福岡市東区香椎浜 1-9-2-406	☎(092)672-7756
	勤:(株)九州地域計画研究所	☎(092)731-7671/Fx(092)731-7673
福岡 " 糸田川隆吉 建 設 810	福岡市中央区赤坂 1-13-2	
	勤:大林組地下鉄天神JV工事事務所	☎(092)725-0793/Fx(092)725-0794
佐賀 " 渡辺 文利 建 設 841-02	佐賀県三養基郡基山町けやき台 2-20-2	☎(0952)92-0719
	勤:応用地質(株)佐賀営業所	☎(0952)24-2270/Fx(0952)24-2241
福岡 " 橋口 邦男 建 設 814-01	福岡市城南区荒江 1-3-11-105	☎(092)831-8283
	勤:西日本技術開発(株)	☎(092)781-1239/Fx(092)781-3743
福岡 " 平田 和彦 応用理学 814-01	福岡市城南区松山 1-14-47	☎(092)861-4334
	勤:西日本技術開発(株)	☎(092)781-1454/Fx(092)781-6748
福岡 " 西園 幸久 応用理学 811-24	福岡県粕屋郡篠栗町和田 1008-65	☎(092)948-3176
	勤:西日本技術開発(株)	☎(092)781-1403/Fx(092)761-7292
福岡 " 井上 博 応用理学 819	福岡市西区生松台 1-10-5	☎(092)812-3546
	勤:西日本技術開発(株)	
福岡 " 山下 正哉 建 設 811-41	宗像市土穴 323-2	☎(0940)33-6426
	勤:西日本技術開発(株)	☎(092)781-1239/Fx(092)781-3743
福岡 " 仲澤 清 建 設 818-01	太宰府市青山 3-2-11	☎(092)924-1615
	勤:西日本技術開発(株)	☎(092)781-9599
福岡 " 渡辺 正幸 応用理学 838-01	小郡市三国ヶ丘 4-122	
	勤:西日本技術開発(株)	☎(092)781-1454/Fx(092)781-6748
福岡 " 武藤 常陽 建 設 810	福岡市中央区笹岡 2-10-5	☎(092)741-7851
	勤:西日本技術開発(株)	☎(092)781-4616/Fx(092)781-9160
福岡 正頸 原田 建作 建 設 811-24	福岡県粕屋郡篠栗町尾仲 849	☎(092)947-5069
	勤:西日本技術開発(株)	☎(092)781-2833/Fx(092)781-9565
福岡 " 佐野 信博 建 設 815	福岡市南区向野町 2-20-28-26	☎(092)512-3598
	勤:西日本技術開発(株)	☎(092)781-1403/Fx(092)781-7292
福岡 " 木寺佐和記 建 設 815	福岡市南区塩原 2-1-47	☎(092)511-7202
	勤:西日本技術開発(株)	☎(092)781-2831/Fx(092)781-1419
福岡 " 原口 善光 応用理学 816	春日市春日公園 8-19-1 ウインザーパーク 202	
	勤:西日本技術開発(株)	☎(092)781-1454/Fx(092)781-6748
福岡 " 竹川 正臣 建 設 580	松原市松ヶ丘 2-18-13	☎(0723)31-6653
	勤:(株)博多土木コンサルタント	☎(092)411-8191/Fx(092)411-8186

福岡	"	太田	光彦	建設	812	福岡市博多区博多駅前1-28-33	コンフォート	1107	■(092)474-7127
				勤: 大成建設株	九州支店		■(092)771-1448/Fx(092)741-4687		
福岡	"	亀澤	靖	建設	819-01	福岡市西区今宿東	2-10-1-207		■(092)806-6794
				勤: 大成建設株	九州支店		■(092)771-1448/Fx(092)741-4687		
福岡	"	長田	紀晃	建設	901-01	那覇市赤嶺53	GSマンション	302	■(098)857-7676
				勤: (株)リトラ			■(098)862-7223/Fx(098)866-0418		
福岡	"	須川	昭	建設	814-01	福岡市城南区友泉亭	11-6		■(092)725-2353
				勤: (株)富士ピース			■(092)721-3470/Fx(092)721-3460		
福岡	"	鬼塚	二男	建設	818-01	太宰府市青山	2-17-14		■(092)921-2453
福岡	"	大村	千敏	建設	819	福岡市西区愛宕浜	4-15-8		■(092)884-1301
				勤: 清水建設株	九州支店		■(092)716-2100/Fx(092)781-4520		
福岡	"	林	満男	農業	815	福岡市南区長住	1-7-7		■(092)553-2830
				勤: 清水建設株	九州支店		■(092)716-2100/Fx(092)781-4520		
福岡	"	緒方	英雄	建設	820	飯塚市東徳前	17-60		■(0948)23-9705
				勤: 第一復建株			■(092)431-9173/Fx(092)461-2293		
長崎	"	坂田	宏人	建設	852	長崎市江里町	14-1	グリーンヒルハイツ	104 ■(095)312-4328
				勤: 太洋技研株			■(095)827-6585/Fx(095)827-2171		
宮崎	"	馬服	忠男	建設	882	延岡市大貫町	4-2527-4		■(0982)21-9861
				勤: 九州工営株			■(0985)28-1122/Fx(0985)28-1105		
福岡	"	式	正治	建設	816	春日市下白水	1294-3-307		■(092)593-8676
				勤: アイ・エヌ・イー九州支店			■(092)595-2220/Fx(092)595-2221		
福岡	"	五反田	進	建設	811-02	福岡市東区奈多団地	34-503		■(092)606-0742
				勤: (株)総合エンジニアリング福岡支店			■(092)472-1948/Fx(092)472-1081		
福岡	"	田嶋	俊郎	建設	815	福岡市南区野多目	1-8-1-302		■(092)512-5883
				勤: (株)協和コンサルタント福岡支社			■(092)733-1241/Fx(092)733-1240		
福岡	"	藤田	筆司	建設	819	福岡市西区姪浜町	624-7		■(092)881-5677
				勤: 鹿島建設株	九州支店		■(092)441-0211/Fx(092)481-8022		
鹿児島	"	鶴園	英昭	建設	891-01	鹿児島市東谷山	5-24-10		■(099)269-1735
				勤: 飛島建設株	九州統括出張所		■(099)258-7600/Fx(099)258-7601		
鹿児島	"	箱田	信幸	応用理学	891-01	鹿児島市桜ヶ丘	6-11-4		■(099)264-7092
				勤: 応用地質株			■(099)226-3971/Fx(099)225-6304		
福岡	政鎮	山本	芳裕	建設	814	福岡市早良区有田	6-13-26 A-201		■(092)871-8637
				勤: 基礎地盤コンサルタント株	九州支社		■(092)831-2511/Fx(092)831-5445		
福岡	"	郷間	祥夫	建設	814-01	福岡市城南区荒江	1-2-11-209		■(092)822-7279
				勤: 基礎地盤コンサルタント株	九州支社		■(092)831-2511/Fx(092)831-5445		
福岡	"	八百山	孝	建設	810	福岡市中央区六本松	2-9-16	エル六本松	805 ■(092)724-5317
				勤: 基礎地盤コンサルタント株	九州支社		■(092)831-2511/Fx(092)831-5445		
福岡	"	調	修二	建設	819	福岡市西区愛宕浜	2-2-1-1303		■(092)884-0388
				勤: 基礎地盤コンサルタント株	九州支社		■(092)831-2511/Fx(092)831-5445		
福岡	"	森本	嘉幸	応用理学	819	福岡市西区城の原団地	4-403		■(092)882-8360
				勤: 基礎地盤コンサルタント株	九州支社		■(092)831-2511/Fx(092)831-5445		
福岡	"	田上	裕	建設	819	福岡市西区福重	3-28-30		■(092)891-2949
				勤: 基礎地盤コンサルタント株	九州支社		■(092)831-2511/Fx(092)831-5445		
福岡	"	松野	幹雄	建設	814-01	福岡市城南区友泉亭	8-20		■(092)714-5600
				勤: 基礎地盤コンサルタント株	九州支社		■(092)831-2511/Fx(092)831-5445		
福岡	"	斎藤	芳徳	建設	814	福岡市早良区百道	1-4-8-602		■(092)823-1415
				勤: 基礎地盤コンサルタント株	九州支社		■(092)831-2511/Fx(092)822-2393		

福岡〃西島 正範 応用理学 814-01 福岡市早良区賀茂 1-26-8 ☎(092)873-8088
 勤：基礎地盤コンサルタント(株)九州支社 ☎(092)831-2511/Fx(092)831-5445
 大分〃菊池 淳一 応用理学 870 大分市弁天 1-1-16 大分エクセル 203 ☎(0975)36-3585
 勤：基礎地盤コンサルタント(株)大分事務所 ☎(0975)38-9033/Fx(0975)38-9035
 宮崎〃治田 堅二 建設 880 宮崎市大工 2-22 永田コーポ 301 ☎(0985)28-9736
 勤：基礎地盤コンサルタント(株)宮崎事務所 ☎(0985)25-3267/Fx(0985)25-3024
 長崎〃内田 篤志 建設 852 長崎市平和町 1-9 中和ビル 3F. ☎(095)849-1171
 勤：基礎地盤コンサルタント(株)長崎支店 ☎(095)821-7150/Fx(095)821-7180
 福岡〃若佐 秀雄 応用理学 815 福岡市南区大橋 2-5-1-201
 勤：応用地質(株)九州支社 ☎(092)591-1840/Fx(092)573-0240
 福岡〃花村 修 応用理学 816 大野城市白木原 1-12-13-712 ☎(092)502-0897
 勤：(株)九州地質コンサルタント ☎(092)586-0260/Fx(092)586-0075
 福岡〃中島 邦秀 応用理学 816 大野城市平野台 1-28-22 ☎(092)596-5888
 勤：(株)九州地質コンサルタント ☎(092)586-0260/Fx(092)586-0075
 福岡〃橋詰 順一 建設 814 福岡市早良区原 7-11-19 ☎(092)864-5350
 勤：飛島建設(株)九州支店 新幹線今泉作業所
 ☎(0965)45-4080/Fx(0965)45-4082

—受付順、敬称略—<会員ニュース終わり>

◇会誌“技術士”最近号の主要項目

☆平成9年7月号

- ・卷頭言 ジャーナリストから
技術士への期待/山本 行雄
- ・界面活性剤—合成・応用— /刈米 孝夫
- ・ミニ特集—発酵—
「発酵」の思い出 /佐藤 正忠
発酵技術の歩みと共に /風間 雅
「発酵」の目覚め /鈴木 清
酒の思い出 /北村 純一
- ・流出油の回収方法について /今村・四戸

☆平成9年8月号

- ・卷頭言 就任挨拶/日本社会会員 梅田 昌郎
- ・脱硫石膏利用による中国の
アルカリ土壤改良/石川・新田
- ・JICA医療機材整備計画 /岩崎 賢二
- ・電気設備の信頼性について /浅谷 義則
- ・地球環境問題概説 /木村 正彦
- ・環境カウンセラーの現況 /小出 昭悟

☆平成9年9月号

- ・卷頭言 新世紀の技術士 /高田 邦道
- ・「製造物責任法」著作の
その後 /杉本 泰治
- ・エンジニアの職業倫理 /済木 幸平
- ・中国古代の金属铸造技術
と工人社会 /田崎 英敏

★投稿募集★

技術研究論文・技術士の主張・贊助会員会社の紹介など、技術的なことは勿論会員の受賞などのニュースもお願いします。積極的な皆さんの投稿をお待ちしております。(20字×10行=200字詰め原稿用紙2~3枚程度<用紙は事務局備付け>)を日安に、支部事務局宛にご送付下さい。

編集後記

エル・ニイニョの影響でしょうか台風が3つも4つも上陸したり、豪雨が続いたり、いくら科学技術が進歩しても御天道様には勝てないようです。それでも長かった夏も終り、吹く風に秋を感じさせる今日この頃です。いよいよ来月は第24回技術士全国大会です。大会関係者の方々は自分の仕事は一時中断しても準備のためいろいろ頑張っておられます。九州での大会が是非とも成功するように我々も微力ながら、何かのお役に立ちたいと願っています。

発行：(社)日本技術士会・九州支部
九州地方技術士センター
〒810 福岡市中央区大名1丁目
12-61 新天ビル 402
☎ (092)771-9534
FAX(092)731-8274